

# IFAC臨時総会及び理事会 ニューヨーク会議報告

国際会計士連盟（IFAC：International Federation of Accountants）の臨時総会が2014年9月3日、理事会が9月4日及び5日にニューヨークにおいて開催された。日本からは海野 正専務理事及び筆者（ボード・メンバー）が臨時総会並びに理事会に出席した。以下、その概要等を報告する。

## I IFAC臨時総会

### 1. 年会費の計算方法の見直し

2013年より定款見直しと加盟団体の年会費の計算方法の見直しが検討されてきたが、定款見直しについては、2014年2月の臨時総会において承認されており、残る年会費の計算方法について事務局より新たな草案が提示された。現行の年会費の計算は、各国の国民総所得（GNI）と各加盟団体の正会員数を基礎に一定の公式を用いて決定されている。提案された新しい計算方法においては、各団体の会員からの会費収入の1.5%にその他の収入の0.3%を加えたものが年会費となる。これは、各団体の負担能力を考慮した上で、透明性のある計算方法を目指したもので

ある。さらに、これには各団体の正会員1人当たり最低2.75ドル、最低総額5,000ドルという従来と変わらない下限のほかに、今回、新たに正会員1人当たり最高25～35ドルの上限も設けられている。

これは、今年2月の理事会において公開草案として可決した計算方法に、アウトリーチの結果を反映して調整を施したもので、今年6月の理事会において、臨時総会に提出し、承認を得ることが決定されたものである。

今年2月の臨時総会に引き続き、オンラインによる遠隔地からの参加と電子投票制度が利用された。承認には、総会参加団体の3分の2の賛成が必要であったが、投票の結果、109票の有効投票のうち、賛成が102票と圧倒的多数で可決された。なお、臨時総会の定足数は、議決権を保持する加盟団体（146団体）の50%である。

## II IFAC理事会

臨時総会に続いて、理事会が開催された。今回は、中国を除く21名が出席した。

### 1. 次期会長等の推薦

指名委員会から総会における選任のための推薦が提出され、理事会において支持（endorse）された。対象は、次期会長（Olivia Kirtley現副会長）、次期副会長（Rachel Grimes現ボード・メンバー）、ボード・メンバー及び指名委員会委員である。また、各種審議会及び委員会のメンバーの選任も推薦され、承認された。

次期会長・副会長は2014年11月の総会において就任することになるが、Kirtley氏（米国）は初めての女性のIFAC会長となる。さらに、今回選任されたGrimes氏（オーストラリア）が2年後に会長に就任した場合には、2期続けての女性会長となる。

### 2. 予算

IFACの2015年の予算案が提示され、承認された。臨時総会において承認された加盟団体の年会費の計算方法の見直しを受けて、総収入は29.1百万ドル（前年は28.2百万ドルで3%の増加）、総支出は28.8百万ドルで、収支は若干余剰を生じている。

### 3. IIRCとのMoU

国際統合報告評議会（IIRC）につ

---

いては、現在、IFACスタッフをIIRC事務局に出向させて協力体制を築くための覚書（MoU）を締結しているが、IIRCより統合報告のフレームワークが公表されたことなどを受け、協力体制を見直した新たなMoUが提案され、承認された。

#### 4. 新規加盟

正式加盟団体に3団体、準加盟団体に3団体の申請があり、いずれも承認された。

#### 5. その他

- 2014年11月に開催される第19回

世界会計士会議（WCOA）ローマ大会の開催準備の進捗状況が報告された。直近の申込者数は、2,500名ほどとのことである。

- 次回の会議は、2014年11月10日にローマにて開催される予定である。また、それに先立ち、11月7日の総会も開催される予定である。さらに、理事会後は、11日よりWCOAが開催される予定である。

#### 〈注〉

- 1 日本、米国（2名）、英国（3

団体から2名）、アイルランド、ドイツ、フランス、ノルディック（北欧諸国の代表）、カナダ（2団体から2名）、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランド（会長）、中国、インド、韓国、インドネシア、トルコ、南アフリカ、ナイジェリア、ジャマイカの各団体の代表から構成される。

（IFAC理事会ボード・メンバー

篠原 真）